

目次

[今週号は 2022 年 3 月 25 日時点の情報を基に作成しています]

マクロ経済コラム：景気調整は加速	1
日本株銘柄情報：アンビスホールディングス(7071)	2
日本株銘柄情報：イー・ギャランティ(8771)	3

景気調整は加速

笹木 義次

2022 年 2 月の実質輸出は 116.2 となり、前月比 3.8% の増加となりました。中国向けの輸出が増加したためです。単月比較では伸長しましたが基調としては改善一服となっていると見ています。

2022 年 2 月の鉱工業生産指数は生産計画では前月比増加となっています。しかし、増加しても計画を下回るか、又は特定業種の影響で減少すると見ています。鉱工業生産指数と連動性の高い実質輸出が基調として改善一服となったからです。

2022 年 1 月の第 3 次産業活動指数でも、景気動向の影響を受けやすい好的個人向けサービスが前月比で 5.4% の減少となりました。景気調整となっている事を示しています。

ロシアによるウクライナ侵攻が行われていない 1 月、2 月の経済指標が景気調整にある事を示しています。4 月以降の経済指標にはロシアのウクライナ侵攻の影響がでてくると思われます。先行きは景気調整が加速すると見ています。



アンビスホールディングス (7071)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/3/25)	4,915.0 円
売買単位	100株
市場	JASDAQ
時価総額	2,387 億円

事業内容

アンビスホールディングス(以下アンビス HD と略称します)は、医療施設型ホスピス医心館の運営を行っています。2021年9月期末で、医心館は42施設です。

2022年9月期第1四半期業績順調

アンビス HD の2022年9月期第1四半期の業績は、売上高が50億44百万円と前年同期比で59.2%の増収に、営業利益は14億59百万円と前年同期比で2.0倍の増益となりました。

売上高の増収効果と総利益率の改善で費用の増加を吸収して、営業利益は増益となりました。売上高は、主に今第1四半期に新規に開設した6施設が寄与して増収となりました。新規6施設の稼働状況に見合った適正な人員採用を行った事から、総利益率は改善しました。

通期計画に対する進捗率は、売上高が23.3%に、営業利益は29.4%となりました。営業利益の進捗率は過去と比べても高い水準となりました。今第1四半期は順調に推移した事がわかります。

施設開設状況順調

今第1四半期は、首都圏を中心に新規に6施設を開設しました。首都圏での医心館に対する高い需要に支えられて、新規に開設した施

<業績の推移>

連結 決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/9	9,174	1,876	1,779	1,239	27.7	3.0
2021/9	15,334	3,784	3,779	2,627	56.2	4.5
2022/9計	21,682	4,965	NA	3,301	68.0	6.0

単位:百万円(1株利益、1株配当は円)計画は会社計画によります。
(注意)2022年1月1日付で1株を2株に株式分割しています。1株利益、1株配当は過去遡及しています。

<投資指標>

連結	
今期予想PER	72.3 倍
PBR	13.92 倍
予想配当利回り	0.12 %

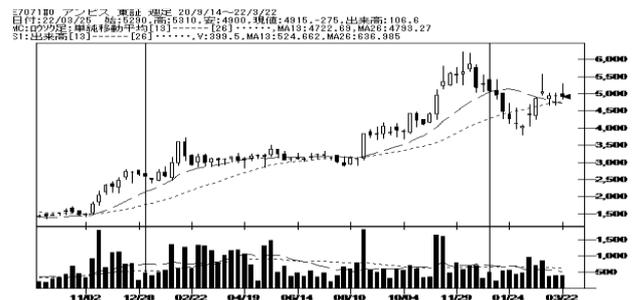
設において高い稼働率となりました。

今期に開設予定の16施設は開設が全て決定しています。2022年9月期末の施設数は58となる予定です。

現在は、2023年9月期に開設予定の施設の開発に取り組んでいます。既に、9施設の開設が決定しています。アンビス HD では年間13から16施設の開設を予定していますので、半分以上が決定している事になります。

2022年9月期業績計画

アンビス HD では、2022年9月期の業績は、売上高が216億82百万円と前年比で41.4%の増収を、営業利益は49億65百万円と前年比で31.2%の増益を計画しています。第1四半期は順調に推移しましたが、通期業績計画は据置いています。筆者はアンビス HD の2022年9月期の業績は、売上高が226億円と前年比で47.4%の増収を、営業利益は51億75百万円と前年比で36.8%の増益を予測しています。高水準の施設稼働率が見込める事や人件費等の費用が適切にコントロールされると見ているからです。



出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

イー・ギャランティ (8771)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/3/25)	1,932.0 円
売買単位	100株
市場	東証1部
時価総額	904 億円

事業内容

イー・ギャランティは、事業会社等が保有している売上債権の未回収リスクを保証するサービスを提供しています。受託した信用リスクは、運用の対象となるような金融商品として組成を行います。短期運用ニーズを持っている投資家に対して、運用商品として提供しています。イー・ギャランティの収益モデルは、利益＝受取り保証料－支払い保証料となっています。受取り保証料は、受取り保証料＝保証債務残高×平均保証料率となっています。平均保証料率は企業の倒産件数とほぼ連動しています。支払い保証料は信用リスクを移転した投資家への支払いとなります。

特徴点

イー・ギャランティには以下の様に 3 つの特徴点があると考えています。第 1 の特徴点として、安定した営業利益の成長実績がある事です。2011 年 3 月期の営業利益 7 億 32 百万円から、2021 年 3 月期の営業利益 30 億 88 百万円まで、過去 10 年間の営業利益の平均成長率は 15.5%です。景気サイクルの変動にも関わらず、受取り保証料率と支払い保証料率で安定したスプレッドを確保しているからです。

第 2 の特徴点として、連続して増配を行っている事です。イー・ギャランティは 2011 年 12 月に東証 2 部に上場しました。1 株当たり配当金は 2011 年 3 月期の 2.5 円から 2021 年 3 月期の 22 円まで 10 期連続で、1 株当たり配

<業績の推移>

連結	決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
	2020/3	5,956	2,718	2,751	2,301	54.1	14.0
	2021/3	7,194	3,088	3,108	2,004	45.1	22.0
	2022/3計	8,500	3,720	3,750	2,400	52.5	22.0

単位：百万円（1株利益、1株配当は円） 計画は会社計画によります。

<投資指標>

連結	指標	数値
	今期予想PER	37.6 倍
	PBR	5.17 倍
	予想配当利回り	1.13 %

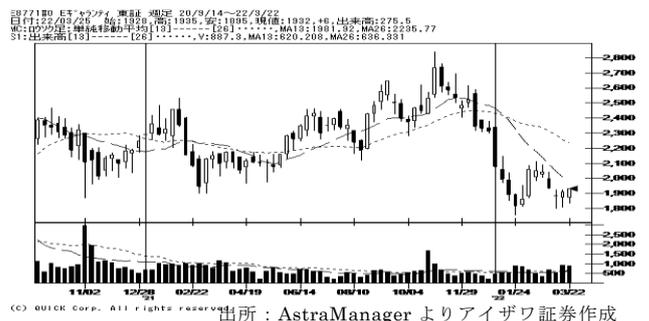
当を増加させています。こうした連続増配は経営層からの安定した事業成長のメッセージになっていると考えています。

第 3 の特徴点として、信用リスクを引受ける基盤となる企業間取引のデータ収集強化に取り組んでいる事です。営業力を強化して顧客企業数を増加させることや前払いサービスや後払いサービスを提供する事で、これまで獲得できなかった企業間取引データの収集に取り組んでいます。企業間取引のデータベースを拡充する事で、競争力の強化と新たな成長機会の獲得につながると見えています。

上記の 3 つの特徴点がイー・ギャランティの企業価値増価の源泉になっていると筆者は考えています。

増益予測

イー・ギャランティの 2023 年 3 月期の業績は、売上高が 94 億 70 百万円と会社計画比で 11.4%の増収を、営業利益は 44 億 50 百万円と会社計画比で 19.6%の増益になると筆者は予測しています。保証債務残高が順調に増加する事や安定したスプレッドが見込めるからです。



本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa